

SFRR Japan NEWSLETTER

June 7, 2012



Top News

SFRR International 2014



17th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research International (SFRR I 2014)の開催のお知らせ

SFRR International 2014の詳細が下記の通り決定いたしました。

日時: 2014年3月23日(日)~26日(水) [4日間]

会場: 国立京都国際会館
(京都市左京区宝ヶ池)



今回、SFRR Japan(日本酸化ストレス学会)がホストSocietyとなったわけですが、SFRR InternationalのBiennial Meeting開催ホストとしてSFRR Japanが選ばれるのは、1988年京都、2000年京都開催に続いて、3度目のことであり、SFRR Japanに対する国際的な期待の高さを表しているものと考えます。これも、ひとえに会員の皆様方のご支援と、優れた研究成果、精力的な学会活動のたまものであると感じております。

現在、SFRR I 2014の開催を目指して鋭意準備中であり、第65回日本酸化ストレス学会において組織委員会を編成し、本格始動する予定であります。組織委員会ですることには限りませんが、会員の皆様のご支援が不可欠であります。参加者の皆様に参加して良かった、勉強になったと言ってもらえるような会にしたいと考えております。特に将来的に本会を支えていくべき若手研究者には、大きな刺激を与えられるような会になればと思っております。

皆様には平素に増してご協力をお願いすることになりますが、本会の発展のためにも、何卒よろしく御願い申し上げます。

内藤裕二(日本酸化ストレス学会副理事長・庶務幹事)



【次年度 学術集会のお知らせ】



第66回日本酸化ストレス学会学術集会

1. 日時: 2013(平成25)年6月13日(木)~14日(金)
2. 会場: 愛知県産業労働センター ウィンクあいち
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL 052-571-6131 / FAX 052-571-6132
(<http://www.winc-aichi.jp/>)
JR名古屋駅桜通口から徒歩5分
3. 会長: 豊國 伸哉(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

♪会長より一言♪

会場はJR名古屋駅から近い便利な場所にあります。翌年のSFRR Kyotoにつながる活気のある会にしたいと思っております。



◇◇◇ 年次学術集会案内 ◇◇◇

第65回日本酸化ストレス学会学術集会

日時: 2012(平成24)年6月7日(木)~8日(金)
会場: 徳島県郷土文化会館(JR徳島駅から徒歩10分)
〒770-0835 徳島県徳島市藍場町2丁目14番地
TEL 088-622-8121 / FAX 088-622-8123
<http://www.kyoubun.or.jp/>



開催のご挨拶

会長 寺尾 純二
(徳島大学 教授)



第65回酸化ストレス学会学術集会を阿波徳島で6月7日~8日に開催することになりました。担当会長としてご挨拶申し上げます。昨年度は3月11日に発生した東日本大震災により杜の都仙台での開催が不可能になりましたが、7月2-3日に北海道ルスツにおいて滞りなく開催されました。今回は本学会が『日本酸化ストレス学会』として新しくスタートしてから5回目の記念すべき学術集会となります。この間開催されました学術集会開催を続けてご支援くださいました会員の皆様、ご協賛企業の皆さまに感謝申し上げます。

今回の開催にあたっては、昨年の大会でさらに高まった会員の皆様の本学会への熱い期待にこたえるべく、関係者一同により鋭意準備いたしました。「酸化ストレス」はすでに一般用語になっていますが、その研究領域は様々な学問分野にわたっており、現在でも広がりつつあります。また、酸化ストレス応答は生物の基本的生命活動として位置づけられるようになってきました。この学際的な研究成果を発表討論する場としての本学術集会の発展がますます望まれています。また、本学会が国際フリーラジカル学会の日本支部に位置づけられることから、本学術集会の国際化も促される所です。そこで我が国の酸化ストレス研究を先導する学会に相応しい学術集会にするべく、プログラムを用意いたしました。まず、招待講演として、徳島大学出身でありプロテアソーム発見で名高い(財)東京都医学総合研究所・所長の田中啓二先生に「オートファジーと神経系疾患」に関する最近の研究成果をご講演いただきます。教育講演では農研機構食品総合研究所前所長で現聖徳大学教授の林徹先生に、昨年の福島第一原発事故以降大きな社会的問題となっている「食品の放射線汚染リスク」について科学者としての立場から講演をいただきます。学会賞受賞講演として名古屋市立大学大学院教授・宮田直樹先生に、学術賞受賞講演として昭和大学薬学部教授・板部洋之先生、慶応大学医学部准教授・鈴木秀和先生にご講演をいただきます。また、学術奨励賞応募発表に加えて、「食品機能研究の先端テクノロジーと新しい視点(オーガナイザー村上明先生)」、「活性酸素の反応と解析の最先端」(オーガナイザー吉田康一先生)、「金属と酸化ストレスの関係を探る: 基礎から臨床研究へ」(オーガナイザー土屋浩一郎先生)の3つのシンポジウムを行います。さらに一般講演やポスター発表、2つのランチョンセミナーを通じて基礎から臨床まで、酸化ストレスに関わる様々な課題が活発に討論されることを心から願っています。

阿波徳島は八十八か所霊場巡礼の旅立ちの地であり「発心」の道場といわれています。皆さま方には、酸化ストレス研究の「発心」に立ち戻るとともに、鳴門渦潮、吉野川などの藍より青き海川、大歩危小歩危などの山深い自然、鳴門鯛、阿波尾鶏をはじめとする海の幸山の幸をお楽しみください。本学術集会にご参加の皆さまに改めてお礼申し上げます。

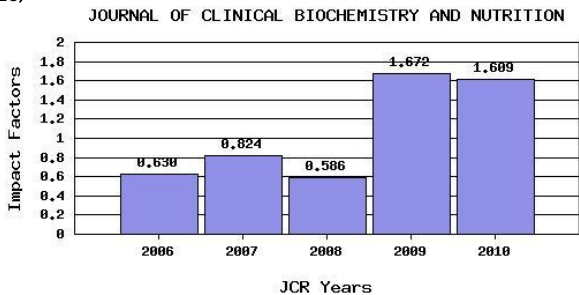




オンラインによる投稿随時受付中！
下記HPよりお入り下さい。
<http://sfrj.umin.jp/JCBN.htm>

現在の Impact Factor : 1.609

(2010)



「八木記念奨励賞」

(英文名: Yagi Kunio Memorial Award for Prestigious Article by Young Investigator)

毎年、JCBNに投稿の発表論文の中より、

- 1) JCBNでの前年度1年間の発表の論文
- 2) 本会会員の若手研究者(男性 40歳以下、女性 45歳以下)

に楯・副賞とともに授与されます。選考は、JCBN編集委員会が選考委員をつとめ、年次研究会の際に発表されます。

★是非多くの論文投稿を期待いたしております。

◆◆◆ 関連支部だより ◆◆◆

現在、日本酸化ストレス学会が承認した支部として、関東支部ならびに東海支部が発足しております。

【関東支部】

2011年12月10日(土)に第26回日本酸化ストレス学会関東支部会が会長、山本順寛先生(東京工科大学応用生物学部)の主催で、速く東京タワーまで見渡すことのできる素晴らしい設備を有する東京工科大学蒲田キャンパス3号館10階階段教室にて開催されました。午前中から一般演題13題が行われ、関東支部会特有のpreliminaryな研究の発表を歓迎する趣旨から、若手発表者の積極的な発表に対する会場の参加者との真摯なディスカッションがなされました。さらに、会長講演として山本順寛先生による「血液で測る組織の酸化ストレス傷害」、特別講演として山口登喜夫先生(東京医科歯科大学難治疾患研究所難治病態研究部門)による「酸化ストレスマーカーとしてのビリルビン抗体とその応用」、そして同じく特別講演として浦野泰照先生(東京大学大学院医学系研究科)による「オリジナル蛍光プローブの精密設計による新たな生体イメージングの実現」という演題で先生方の講演が進められました。まさに、酸化ストレス研究に関わる各先生方のこれまでの卓越した研究成果と最先端研究情報について話して頂きました。これら講演により、会場の参加者の酸化ストレス研究に対する知識・啓発と演者の先生方とのディスカッションもより一層深まるものになりました。これらの充実したプログラムの後、懇親会が12階学生ラウンジにて進められ、若手研究者あるいは参加者同士の意義ある交流がなされました。次回は、本ニューズレターにも掲載されていますように、会長河野雅弘(東京工業大学)先生のもとで行われますので、奮って参加して頂くようお願い申し上げます。



(日本酸化ストレス学会関東支部会事務局
神奈川歯科大学生体管理医学講座薬理学分野
李 昌一)

【東海支部】

東海地区(愛知・岐阜・三重・静岡)では、同地区の日本酸化ストレス学会評議員有志が発起人となり、日本酸化ストレス学会東海支部を設立致しました。2012年2月8日に名古屋大学医学部鶴友会館にて東海支部設立の発起人会を開催し、同支部の代表に名古屋市立大学大学院薬学研究科長・教授の宮田直樹先生を選出しました。

また、同日午後から同じく鶴友会館にて、日本酸化ストレス学会東海支部設立記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、東海地区で酸化ストレス研究を行う大学・研究機関の研究者から11の講演があり、44名の参加者を交えて活発な討論が行われました。講演後には日本酸化ストレス学会理事長の小澤俊彦先生より総評あり、今後の本地区における酸化ストレス研究の発展について期待が述べられシンポジウムは盛況の内に閉幕しました。

シンポジウム終了後には、東海支部に属する酸化ストレス研究者同士、懇親を深める交流会が開催されました。(懇親会は、日本酸化ストレス学会らしく、二次会まで続きました・・・)

東海支部では、今後、年1回東海地区での学術集會を行うこととしており、日本酸化ストレス学会の発展に貢献していきたいと考えております。東海地区の研究者の皆様は是非東海支部学術集會にご参加下さい。

東海支部連絡先:

名古屋市立大学大学院薬学研究科薬化学分野内
yakka@phar.nagoya-cu.ac.jp (担当: 中川秀彦)

◆◆◆ YIA 公募について ◆◆◆

Young Investigator Award 公募のお知らせ

日本酸化ストレス学会では、若手研究者奨励の為に、関連学会での発表者に Young Investigator Award (奨励賞) を授与しております。

今年は、2年に一度のSFRR Internationalの開催年になりますので、選考を予定しております。 ※今回の対象は第16回SFRR International(London, U.K.・2012.9.6-9開催です。

賞は2種類

1) SFRR ASIAのYIA

アジアの若手会員から 6名

賞状ならびに副賞が授与されます。

賞は3種類各2名予定。種類によって副賞が変わります。

(現金もしくはジャーナルの無料購読1年分など)

※発表は会期中の懇親会の表彰式において。

2) 日本酸化ストレス学会 奨励賞 5名程度

賞状ならびに副賞(2万円程度)が授与されます。

※発表は会期中の懇親会の表彰式もしくは事務局が定めた方法。

応募条件は下記の通りです。

- ・日本酸化ストレス学会 会員
- ・学生、ポスドク、またそれに準じたもの
- ・演題発表(口頭もしくはポスター)の筆頭演者
- ・学会に参加しているもの(演題のみ応募して欠席の場合は不可)
- ・年齢: 40才未満

☆☆☆事前公募となっております。是非、奮ってご応募下さい。☆☆☆

※SFRR Asia ならびに SFRR Japanの双方に申し込んでも結構ですが、受賞はSFRR Asiaが優先され、両方を受賞することは出来ません。

【応募書類】(MS Wordの添付ファイルにてお送り下さい。)

→ SFRR Asia YIA:

・応募抄録 (英文) ※16th SFRR Internationalに演題応募済みのもの!

・略歴(A4 1枚程度)(英文) ★生年月日・性別は必ず記載下さい。

・送信先: SFRR Asia 事務局
sfrrasia@koto.kpu-m.ac.jp

→ 日本酸化ストレス学会 YIA

・応募抄録 (英文) ※16th SFRR Internationalに演題応募済みのもの!

・略歴(A4 1枚程度)(和文) ★生年月日・性別は必ず記載下さい。

・送信先: 日本酸化ストレス学会 事務局
sfrj@koto.kpu-m.ac.jp

各メールアドレス宛、添付ファイルにてお送り下さい。

応募締切: 2012年7月31日(火)

◆◆◆ 関連学会 開催案内◆◆◆

以下の関連学会情報は予定を多く含みます。変更などが生じる可能性もありますので、詳細については、各主催団体にお問い合わせ下さい。また、学会HPにても随時情報を掲載予定です。

**16th Biennial Meeting of
Society for Free Radical Research International**

Date: 6-9 September 2012.
Venue: Imperial College London,
South Kensington, UK



Discuss the impact of the latest research, concepts and applications of free radicals and antioxidants.

Conference Chairman



Prof. Giovanni E. N.
Secretary General
Meeting Chairman



Prof. Malcolm Jackson
President
SFRR Internatioal



HP: www.SFRRImeeting.org

SFRRi 2012 is being held in Imperial College's SOUTH KENSINGTON campus right in the heart of some of London's greatest tourist attractions – Natural History Museum, Victoria and Albert Museum and the Royal Albert Hall.

**事前登録締め切り(Early bird deadline):
Monday, 11 June 2012**

Young Investigator Awardの授与を予定しております。
会期に先立って、公募を前ページの通りに行います。
是非たくさんのご応募下さい。

Free Radical School in TATEYAMA2012のご案内

会 期: 2012年8月7日(火)~9日(木)
会 場: 筑波大学館山研修所
〒294-0045館山市北条2861
TEL0470-22-1942
(外房線館山駅から徒歩3分)



参加費: 1万円(食事と宿泊込)。

(大学の寮ですので宿泊や食事等それなりのQualityです、後片付けなどは自分で)

受講対象者: 興味のある人

主催: 松井裕史(筑波大学医療系)



フリーラジカルの先駆者たちを招き、フリーラジカル研究を志す若手、学生向けの研究会—フリーラジカースクールを本年も筑波大学館山研究所にて開催いたします。昨年は小澤俊彦学会会長をはじめ多数のフリーラジカル研究者の先生方に御講演いただき、盛會に執り行われました。また、研究会期間に催された館山花火大会の観覧も好評でありました。本年は、最先端のフリーラジカル研究について吉川先生も参加いただく予定となっております。フリーラジカル研究の基礎研究から最先端研究まで知識が得られる場ですので、是非とも積極的なご参加をお願いすると共に、研究者間の知識交流を深める場となることを期待しております。

参加申し込み希望者は筑波大松井(hmatsui@md.tsukuba.ac.jp)までメールをください。

松井裕史

**6th Biennial Meeting of
Society for Free Radical Research Asia
"Oxidative Stress and Mitochondrial Alterations in Ageing and Disease"**

Date: October 16th to 19th, 2013
Venue: Chang-Gung University in Taoyuan,
Taiwan (Tentative)
President: Prof. Daniel Tsun-Yee Chiu (President of SFRR Taiwan)



第29回臨床フリーラジカル会議

会 期: 2012年12月7日(金)p.m.~8日(土)a.m.
会 場: 烟河(けぶりかわ) 会議室 (京都府亀岡市)
〒621-0251 京都府亀岡市本梅町平松1-1
TEL 0771-26-2345
<http://www.keburikawa.com>

当番世話人: 吉川 敏一

(京都府立医科大学学長)

問い合わせ先: 臨床フリーラジカル会議 事務局
京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学内
e-mail: handao@koto.kpu-m.ac.jp

宿泊を伴う研究会を予定しております。若手講演者セッションも設ける予定ですので、是非多数ご参加下さい。
取り上げて欲しいテーマなどがありましたら、事務局までお寄せ下さい。

第27回日本酸化ストレス学会関東支部会

日 時: 2012年12月15日(土) 10:00~ (終了後 懇親会)
会 場: 東京工業大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール

(<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html>)

会 長: 河野雅弘(東京工業大学特任教授)
会 費: 参加費3,000円(学生1,000円)、懇親会費3,000円(学生1,000円)
(当日お支払い頂きます)

~ 発表申込規定 ~

1. タイトル、2. 発表者(所属・氏名)、3. 申込要旨、200字程度、4. 要旨集は制作せず(申込要旨を当日資料として配布)、5. 発表は口頭発表のみ、6. 発表時間は自己申告(7分、10分、15分、20分から発表者が選ぶ)、7. 研究会の目的は、若手研究者の活性酸素・フリーラジカル研究のための技術交流を主目的とし、酸化ストレス学会年会に向けての勉強会とする。《申込方法》
発表希望者は、1~3、及び発表時間について下記Eメールアドレス宛お申込下さい

【締め切り11月16日(金)】

問合せ先:

第27回日本酸化ストレス学会関東支部会会長 河野雅弘
代) 秘書 好永(ヨシナガ)
東京工業大学大学院生命理工学研究科
〒226-8502 横浜市緑区長津田町4259-G1-25
TEL/FAX: 045-924-5794
E-mail: yoshinaga@bio.titech.ac.jp

平成24年度日本酸化ストレス学会東海支部学術集會

日 時: 2013年2月9日(土) (予定)
会 場: 未 定

日本酸化ストレス学会東海支部
事務局: 〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1
名古屋市立大学大学院薬学研究科内
Phone: 052-836-3408
Fax: 052-836-3408

